

日本キリスト教会大阪北教会

2017年7月30日 聖日礼拝説教 牧師森田幸男

聖書 エフェソの信徒への手紙2章11～22節

02:11 だから、心に留めておきなさい。あなたがたは以前には肉によれば異邦人であり、いわゆる手による割礼を身に受けている人々からは、割礼のない者と呼ばれていました。02:12 また、そのころは、キリストとかかわりなく、イスラエルの民に属さず、約束を含む契約と関係なく、この世の中で希望を持たず、神を知らずに生きていました。02:13 しかしあなたがたは、以前は遠く離れていたが、今や、キリスト・イエスにおいて、キリストの血によって近い者となったのです。02:14 実に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し、02:15 規則と戒律づくめの律法を廃棄されました。こうしてキリストは、双方を御自分において一人の新しい人に造り上げて平和を実現し、02:16 十字架を通して、両者を一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされました。02:17 キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。02:18 それで、このキリストによってわたしたち両方の者が一つの霊に結ばれて、御父に近づくことができるのです。02:19 従って、あなたがたはもはや、外国人でも寄留者でもなく、聖なる民に属する者、神の家族であり、02:20 使徒や預言者という土台の上に建てられています。そのかなめ石はキリスト・イエス御自身であり、02:21 キリストにおいて、この建物全体は組み合わされて成長し、主における聖なる神殿となります。02:22 キリストにおいて、あなたがたも共に建てられ、霊の働きによって神の住まいとなるのです。

説教 「キリストは全世界に平和をもたらす御方」

◆わたしたちが、日曜日を聖日として、雨の日も風の日も暑い日も寒い日も聖日礼拝の遵守を心がけますのは、この日曜日が主イエス・キリストの復活記念日であるからであります。主イエス・キリストの復活の事実は、その30数年の地上の生涯の歩みが、父なる神様の御心にそうものとして、神様によって認められたことを意味しております。そのイエス様を主となる神様として、唯一の救い主として礼拝する事は、私たちの日々の生活、ひいては全人生を、主イエス様と共に歩むということの決意表明でもあるのです。十字架と復活の主を覚える時、わたしたちは一切の思い煩いから解放されるのであります。私が近頃、口ずさんでいます讚美歌にこのような歌詞のものがあります。①悲しみ尽きざる 浮世にありても 日々主と歩めば 御国の心地す (おりかえし) ハレルヤ! 罪咎 消されしわが身は いづくにありても 御国の

心地す！ ② 彼方の御国は 御顔の微笑み 拝する心の 中にも建てらる（おりかえし）

③山にも谷にも 小屋にも宮にも 日々主と住まえば 御国の心地す（おりかえし）。

- ◆それで、今、思い出したことがあるのですが、今日はお休みですが、染森孝子姉の事です。御夫君の昭一郎さんが病床洗礼を受けられ、その翌日に召されたのはもう十数年も前の事です。孝子姉もその後導かれてこの教会で洗礼を受けられ、執事として熱心に仕えて来られました。そんなある日の事、ご近所の方から、「染森さん、お寺さんの姿が見えませんが、お参りはいつされているのですか」と聞かれたそうです。その時染森さんは、「えー、私が毎週教会に行って、お参りさせて頂いておりますねん」と答えられたそうです。私は「染森さん、それは上手に答えられましたね」とおほめた事でした。
- ◆今年は宗教改革500周年の年に当たります。そのきっかけはマルチン・ルターが、新たに聖書の中に命の福音を見出したことにあるのですが、そのルターがヨハネ福音書の3章16節を聖書の福音を煎じ詰めたものという意味で、これを、「小福音」と呼びました。「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」
- ◆私達が先日来、読んでおりますこのエフェソの信徒への手紙は、この「小福音」の解説だと言ってもよいのであります。既に何度も読みましたように1章3節以下で使徒パウロは、このように言っております。「03 わたしたちの主イエス・キリストの父である神は、ほめたたえられますように。神は、わたしたちをキリストにおいて、天のあらゆる霊的な祝福で満たしてくださいました。04 天地創造の前に、神はわたしたちを愛して、御自分の前で聖なる者、汚れのない者にしようと、キリストにおいてお選びになりました。05 イエス・キリストによって神の子にしようと、御心のままに前もってお定めになったのです。06 神がその愛する御子によって与えてくださった輝かしい恵みを、わたしたちがたたえるためです。07 わたしたちはこの御子において、その血によって贖われ、罪を赦されました。これは、神の豊かな恵みによるものです。08 神はこの恵みをわたしたちの上にあふれさせ、すべての知恵と理解とを与えて、01:09 秘められた計画をわたしたちに知らせてくださいました。これは、前もってキリストにおいてお決めになった神の御心によるものです。10 こうして、時が満ちるに及んで、救いの業が完成され、あらゆるものが、頭であるキリストのもとに一つにまとめられます。天にあるものも地にあるものもキリストのもとに一つにまとめられるのです。」私達に残されている事は、この祝福を日々生きて、これを世の全ての人々に伝えること以外にありません。ただその事だけが、この世界に平和をもたらすのです。

◆この最近、北朝鮮による I C B M・大陸間弾道弾の実験がくりかえされておおり、それに対しアメリカが対応していますが、核兵器の精度を以下に挙げてもそれによつては平和を維持することは絶対にできません。ただ緊張を高めるだけです。そのような中で、日本が世界に貢献できる道は、憲法9条を、堅持することだけです。憲法9条は以下の通りです。

「1項：日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。2項：前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。」私は、今ここに“9条を抱きしめて”というチラシを持っておりますが、“憲法9条は、核兵器より強いのです。”と書いてあります。これは、元米軍海兵隊員のアレン・ネルソンさんの言葉です。

◆福音書によつて、イエス・キリストの御業を見る時、その愛の業、癒しの業は、身分や民族の壁を突き抜けています。如何なる分け隔てもなく、一人の人間の存在・尊厳を神様に等しい者として、ひたすらに、お仕えになったことが分かります。先日来、ユダヤ人の日常挨拶語として、「シャーローム」＝「平安・平和がありますように」の他に、「ペレー」＝「奇しき御業」という挨拶語があることをお話ししています。互いにあった時、「ペレー！」と言い交わすのです。互いの存在と、今ある事を『神様の奇しき御業』である事を感謝し、確認するのです。わたしたちは、この「ペレー」がある所に「シャーローム」がある事を覚えます。

◆本日、「キリストは全世界に平和をもたらす御方」という説教題を付けましたが、ラテン語の格言に「キリストが在す所に教会がある」と言う格言があるそうです。正に然りですね。更にこれを「キリストが在す所に教会があり、教会がある所に平和がある」という格言を創り出し、これを生きるところに、教会の課題・使命があると思います。正にキリストがいます所に平安があり、救いがあり、解放があり、平和があります。

◆14～16 を読みます。「14 実に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し、15 規則と戒律づくめの律法を廃棄されました。こうしてキリストは、双方を御自分において一人の新しい人に造り上げて平和を実現し、16 十字架を通して、両者を一つの体として神と和解させ、十字架によつて敵意を滅ぼされました。」ここに「和解」という言葉があります。これは、「同価値のものとの交換」という言葉です。もし恨みをかっているのなら、その恨みと同じ価値の償いが為される時に和解が成立いたします。イエス・キリストの十字架の死は、和解のための身代わりの犠牲です。それ故に、イエス・キリストを、神の独り子と信じて、キリストと一体とされた私達キリスト者は、自ら

を、和解のための犠牲とする日々を生きなければなりません。そして、十字架と復活の主イエス様の命に与ることを許されるのです。

◆主イエス様は、山上の説教においてこのように語られました。マタイ伝5章9～11節、P.6です。「09 平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。10 義のために迫害される人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである。11 わたしのためにこのしられ、迫害され、身に覚えのないことであらゆる悪口を浴びせられるとき、あなたがたは幸いである。12 喜びなさい。大いに喜びなさい。天には大きな報いがある。あなたがたより前の預言者たちも、同じように迫害されたのである。」

◆わたしたちは、神様の御恩寵によって、その憐れみによって、主イエス・キリストのものとなされました。そして、「神は、わたしたちをキリストにおいて、天のあらゆる霊的な祝福で満たしてくださいました。」

上でご紹介しました讚美歌にこのようにありました。

悲しみ尽きざる 浮世にありても 日々主と歩めば 御国の心地す！

ハレルヤ！罪咎 消されしわが身は いづくにありても 御国の心地す！

◆神様のペレーにより、主イエス・キリストの十字架と復活に与る者とせられている私達であります。身も心も捧げて、神様の御心が地になるために、神様の平和が世になるために、身を捧げようではありませんか。十字架の主・復活の主イエス・キリストと共に、平和を生み出す奉仕の道を共に歩もうではありませんか。

◆お祈りいたします。

憐れみ深い主イエス・キリストの父なる神様。

あなたの奇しき御恵みの故に、今、わたしたちがこの上ない御祝福に与ることを得ていますことを、心から感謝いたします。どうか、御独り子、主イエス・キリストに合わせられた私達はその幸いにふさわしい者として、御心に適う奉仕が出来ますように御導き下さい。あなたが御覧のように、世は争いと憎しみと対立によって、混乱しています。どうか、私達が誰一人の漏れもなくあなたのペレーであり、あなたに造られた掛け替えなき存在であることを覚え、互いに慈しんで生きる者たちとして下さい。何より、先に御恵みに与っているわたしたちが、平和の為に、献身する者として下さい。この祈り、主イエス・キリストの御名を通し、御前にお捧げいたします。アーメン。